



# みんなで家庭教育!!



## 新しい役割を引き受けること

春ですね。それぞれが新しい環境でスタートする時期だと思います。

子ども達が、それぞれ入園・入学・進級と新しいつながりの中に飛び込んでいく時でもありますね。

私たち保護者も、子どもが新しい環境へ進むとき、それに伴って、新しい役割を引き受けることがあります。学校の役員、地域の役員、スポ小の役員、習い事の役員などなど、子ども達が育っていく中には、たくさんの保護者の役割がありますね。給料を得る仕事とは、また異なる役割です。やってみたい!!挑戦したい!!という前向きな気持ちで立候補して、役割を受け持つことができれば、それはとても素晴らしいことです。が、往々にして、「くじで」「じゃんけんで」「あみだで」「輪番で」「どうしても頼まれて」と仕方なく、その役割を引き受けるということがあると思います。また、自分で本当につとまるのかと、不安を感じながら引き受ける方も多いと思います。

各家庭教育学級の役員もその1つだと思います。

家庭教育学級の役員を引き受けてくださった役員さんの中にも、自分から「挑戦したい!!」という方も見えますが、そうでない方もいらっしゃいます。役員を務めていただくことは、自分の家庭のことだけでなく、他の方のためにやらなければならない仕事が増えるということです。やらずにすめば、その方が楽だと思う気持ちもあると思います。

先日、平成28年度家庭教育学級の役員を終えられる方から、メールやお手紙をいただきました。「通信に載せるから書いてね」と頼んで書いていただいたわけではなく、個人的にいただいたものです。3名の方にはご了承頂きましたので、紹介させていただきます。

ついに今日で家庭教育学級が終わってしまいます。ほっとしている気持ち半分、寂しさ半分...いや圧倒的に寂しさでいっぱいです。

私自身はすごく人見知りする性格で、ママ友というママ友はおらず、不安や焦りばかりを感じていました。こんなんじゃダメだなあと本当に落ち込んでばかりの日々だったのに、役員、それも学級長という大役が回ってきたので、内心ビクビクでした。

結婚して、主婦になって、母親になると、叱られることはほとんど無くなりますが、(自分は子どもに叱ってばかりなのに)、褒めて頂けるということも本当になくなりますよね。褒めてほしいわけじゃないのですが、そういう毎日の繰り返しで、少しずつ自分に対して否定的に考えてしまったり、子どものときに感じていた「褒められた」という喜びと、自己肯定感みたいなものを忘れていってしまったりするんですね。でも、先生がいつも私の何かを褒めてくださって、私の乾いた心を潤してくれました。大げさに聞こえるかもしれませんが、本当にうれしかったのです。「ああ、褒められるってこんなに嬉しいんだ!心を満たしてくれるんだ!」って思えたのです。褒められたらがんばることができるのは、子どもも大人も一緒なんだなと。だから、もっと、自分の子どものことを褒めようって反省しました。たくさん褒めて、認めて、尊重しようって思いました。役員をやったおかげで、気付きました。

そして、この1年で、私自身は、ほとんど役立つ仕事はしてないですが、なんだかとても自信がついて、いろいろなことに挑戦できるような気がして、新しい自分を開花できた気がします。役員のメンバーとこんなふうなママ友の枠を超えた絆が芽生えたのも本当に宝です。

今後もこの1年を心の支えにして、いろいろなことに取り組んで生きたいと思います。

2月、最後の講座を何とか無事に終えることが出来ました。講座の準備など、前役員さんも協力して下さい、本当にたくさんの方々に助けて頂いたからこそ、無事に一年を終える事が出来たんだと思います。

今年度のテーマ「ココロもカラダも生き生き!!」でしたが、私自身がこの一年、今までで一番充実していたのではないかなと感じています。メンバーの皆さんに、本当に助けて頂いて、感謝しかありません。

これで、娘が卒園してしまうので、幼稚園に関わる事がなくなってしまうのは、本当に淋しいですが、先生方の愛情をたっぷり受けた子供達がどんどん成長していく姿はとても楽しみでもあります。

子どもが3才ならば、お母さん暦も3年目、知らない事の方が多いものです。つまり事もたくさんあると思いますが、子どもと一緒に成長するという気持ちでこれから過ごしていけば、失敗しても少しでも前向きになれる気がします。

子どもの一年は、色々なものがたくさんつまっていて、本当に羨ましいです。子どもには、無駄がないんです。すべての生活が子どもにとって、必要な事なんですよ。だから、一年で、ものすごく成長するんだと思います。

そんな子どもの成長を少しでも見逃さないように、私も少しでも無駄なく生活出来るように頑張らなければいけないと思っています。ここでの出会いを大切にこれからも過ごしていきたいと思っています。

この1年間、仕事の平日休みをほとんどこの家庭教育学級のために取り、たまには自由時間が欲しいな～と思ったりしました。そんな中、昨日ほぼ半年ぶりくらいでなんの用事もない平日休みができ、数日前から美容院に行こうかなとか、名古屋で開催しているゴッホとゴーギャン展を観に行こうかなとかワクワクしていました。

が、まさかの息子の体調不良で金曜日からずっと休むことになり、昨日も出かけることなく1日過ごしました。でも、不思議とそれでガッカリすることはなかったです。もっと子どもたちが小さかった頃は、自分の時間が欲しいと毎日思っていて、今でも思うことはあるけれど、子どもたちとこんなに向かい合える今が貴重なんだなあ～とんだかしみじみしてしまいました。

幼稚園と小学校、両方で家庭教育学級の役員をやってみて、そういう風に思えるようになったのは、きっとこの活動があったからなんだろうなと思います。

また4月からも家庭教育学級に参加して、自分自身も楽しみたいと思っています！いつも丁寧なご指導いただき、本当にありがとうございました。また、子育て話ができるのを楽しみにしています。

そして、これを書いていて、こんなことが言えるのも母親にしてくれた子どもたち(と、もちろん主人もですが)のおかげなんだなあとまたしみじみしちやいました。

長々とすみません。ありがとうございました。

お子さんは、親の背中を見ています。

「自分の仕事、一生懸命やりきって素敵」

「人のために、何かできるってすごいよ」「仲よしの友だちって大事だね」

「がんばれば、ちゃんと見てくれる人がいるよ」

「ありがとうって言ってもらえるのって、本当に嬉しいね」

役員として働く姿を通して、こんなメッセージをお子さんに伝えているのだと思っています。家庭教育学級の新役員の皆さんはもちろん、それぞれの立場で新しい役割を引き受けられた皆さんが、1年後に少しでもやってよかったと思われることを願っています。

H29.4.1より、家庭教育の担当は、子育て支援課になりました。



可児市役所 子育て支援課  
後藤 愛  
電話：62-1111  
メール：[ai-gotou@city.kani.lg.jp](mailto:ai-gotou@city.kani.lg.jp)